

普及技術

分類名〔家畜〕

普 11	新しい基幹種雄牛「 ^{はなふくひさ} 華福久」
------	----------------------------------

宮城県畜産試験場

要約

種雄牛の産肉能力を評価する現場後代検定の結果、「華福久」は産子が優秀な成績を示し、基幹種雄牛として選抜された。

普及対象：肉用牛繁殖及び肥育経営
普及想定地域：県内全域

1 取り上げた理由

優れた宮城県産種雄牛を造成し地域の肉用牛改良を推進するため和牛産肉能力現場後代検定を実施している。その結果、「華福久」が基幹種雄牛として選抜されたので、普及技術とする。

2 普及技術

（1）産肉能力検定済み種雄牛「華福久」を基幹種雄牛とする。



写真1 「華福久」

（2）特性等

イ 「華福久」は、父に「茂福久」、母方祖父に「華春福」、母方曾祖父に「福華1」を持つ、順に茂金系、田尻系、気高系からなる血統である（表1）。

ロ 「華福久」の産子は、現場後代検定25頭の結果から、肉質等級5が24頭、同じく4が1頭と極めて良好な成績を示した。枝肉重量は531.0kg、脂肪交雑(BMSNo.)は10.4と極めて優秀で、産肉能力に優れた種雄牛である（表2）。

表1 生年月日、産地、血統及び登録審査時の美点、欠点

名号	生年月日	産地	父	母方祖父	母方曾祖父	美点	欠点
華福久	R2.5.1	涌谷町	茂福久	華春福	福華1	体均、資質、体伸	外腿、肘後

表2 第20回産肉能力現場後代検定成績〔華福久(平均値)〕

名号	性別	頭数	出荷月齢	枝肉重量(kg)	ロース芯面積(cm ²)	バラ厚(cm)	皮下脂肪厚(cm)	歩留基準値	BMS No.	肉質等級4・5率(%)
華福久	去勢	17	29.3	547.5	75.7	9.6	2.3	76.8	10.3	100
	雌	8	29.5	496.1	78.6	9.0	2.6	77.1	10.8	100
	計	25	29.4	531.0	76.6	9.4	2.4	76.9	10.4	100

3 利活用の留意点

「華福久」は、繁殖雌牛の父が「茂福久」である場合、その交配の近交係数は13.8%以上となるので避けること。また、繁殖雌牛の父が「華春福」である場合、その交配の近交係数は8.3%以上とやや高くなるので留意すること。

(問い合わせ先：宮城県畜産試験場酪農肉牛部 電話0229-72-3101)

4 背景となった主要な試験研究の概要

(1) 試験研究課題名及び研究期間

肉用種雄牛の検定(昭和55年度～)

(2) 参考データ

表3 第20回産肉能力現場後代検定牛の概要

名 号	登録番号	生年月日	血 統			1日平均増 体重(kg/日)	産 地
			父	母方祖父	母方曾祖父		
華福久	黒原6438	R2.5.1	茂福久	華春福	福華1	1.35	涌谷町

表4 第20回産肉能力現場後代検定成績[全頭(平均値)]

名号	性別	頭数	出荷月齢	枝肉重量 (kg)	ロース芯 面積(cm ²)	バラ厚 (cm)	皮下脂肪 厚(cm)	歩留 基準値	BMS No.	肉質等級 4・5率(%)	判定
勝美雷	去勢	7	29.0	555.6	84.0	9.7	2.3	77.8	9.6	100	淘汰
	雌	10	29.1	483.5	81.0	9.0	3.0	77.1	9.6	100	
	計	17	29.1	513.1	82.2	9.3	2.7	77.4	9.6	100	
華福久	去勢	17	29.3	547.5	75.7	9.6	2.3	76.8	10.3	100	選抜
	雌	8	29.5	496.1	78.6	9.0	2.6	77.1	10.8	100	
	計	25	29.4	531.0	76.6	9.4	2.4	76.9	10.4	100	
達福久	去勢	7	29.8	507.9	74.9	8.8	1.9	77.0	10.4	100	淘汰
	雌	11	29.9	480.8	76.5	8.9	2.5	77.1	9.3	100	
	計	18	29.9	491.3	75.8	8.9	2.3	77.1	9.7	100	
茂花美	去勢	10	29.9	542.1	76.7	9.5	2.2	77.0	9.7	100	淘汰
	雌	7	30.0	506.9	76.9	9.1	2.9	76.6	10.0	100	
	計	17	30.0	527.6	76.8	9.4	2.5	76.8	9.8	100	

(3) 発表論文等

イ 関連する普及に移す技術

なし

ロ その他

なし

(4) 共同研究機関

全国農業協同組合連合会宮城県本部